

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

3-メチル-1, 5-ペンタンジオールのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する
繁殖阻害試験

試験番号

91743

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 3-メチル-1, 5-ペンタンジオール
- 2) 試験生物： オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- 3) 生物数： 40頭／1試験区(1連につき10頭で1試験区40頭)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 暴露方式： 半止水式(週に3回、試験液を交換)
- 6) 試験濃度： 100、50.0及び25.0 mg/L(公比：2.0)及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき4連
- 8) 試験液量： 1容器(1連)につき800 mL
- 9) 試験水温： 20±1℃
- 10) 照 明： 16時間明／8時間暗
- 11) 試験液中の被験物質の分析： ガスクロマトグラフィー (GC)
(0、3、7、10、12及び14日目)

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの50%致死濃度(LC50)
> 100 mg/L
 - 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度(ErC50)
> 100 mg/L
 - 3) 最大無作用濃度 (NOECr) > 100 mg/L
 - 4) 最小作用濃度 (LOECr) > 100 mg/L
- (上記濃度は、全て設定値に基づく値)